

## 製品安全データシート

平成22年1月1日 改訂

## 1.化学物質及び会社情報

株式会社**染めQ**テクノロジー  
 R&D 福元 郁子  
 茨城県猿島郡五霞町元栗橋5971  
 TEL. 0280・80・0005(代)  
 緊急連絡電話番号も同じ  
 FAX. 0280・80・0006(代)

製品名 : ホントにビックリン カビまでイチコロ  
 製品説明(種類) : クレンザー

## 2.組成・成分情報(危険有害性物質を対象)

(単一製品・混合物の区別) : 混合物  
 (成分及び含有量)

成分名	CAS.NO	化審法・安衛法	含有量(%)
水	-	-	50～55
研磨剤	-	-	15～18
漂白剤	-	-	7～9
界面活性剤			
直鎖アルキルスルホン酸塩	25155-30-0	(3)-1884	0.1～0.2
脂肪酸アルコールアミド	120-40-1	(2)-2503	0.1～0.2
防カビ剤	非公開	非公開	0.1～0.2
安定化剤	-	-	1～3
pH調整剤	-	-	1～3
分散剤	-	-	1～3
皮脂分解剤	-	-	20～25

## 3.危険有害性の要約

(最重要危険有害性及び影響)

物理的及び化学的危険性 : ・通常の使用では危険性は低い。  
 ・酸性物質との混合は、ガスを発生させる。  
 ・皮膚に付着すると肌荒れを起こす事がある。  
 危険有害性の分類 : ・該当しない。

## 4.応急処置

吸入した場合 : ・通風の良い場所で休養する。  
 皮膚に付着した場合 : ・水又は石鹼水で十分に洗い流す。  
 目に入った場合 : ・流水で十分洗う。必要に応じて眼科医の診断を受ける。  
 飲み込んだ場合 : ・吐かせて本品を持参の上直ちに医師の診断を受ける。

## 5.火災時の措置

消火剤 : ・不燃性で消火作用を有するため、消火方法は特にない。

## 6.漏出時の措置

<u>人体に対する注意事項</u>	:	・作業時には保護具(手袋、眼鏡)の着用が望ましい。
<u>環境に対する注意事項</u>	:	・河川や下水への大量排出は避ける事。
<u>回収、中和などの除去方法</u>	:	・吸着剤(オガクズ、ウエス等)に吸着させ取り除いた後、 残りをウエスや雑巾等でよく拭き取り、大量の水で洗い流す。 吸着剤に用いたウエス等は焼却する。

## 7.取り扱い及び保管上の注意

(取り扱い)		
<u>技術的対策</u>	:	・吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に接触しないように 適切な保護具の着用が望ましい。
<u>注意事項</u>	:	・使用していない容器は密閉し、又こぼさぬ様 注意して 取り扱う。
<u>安全取り扱い注意事項</u>	:	・異物の混入を避ける。
(保管)		
<u>保管条件</u>	:	・直射日光が当たらない様にする事。 ・火炎、火花、温度変化の激しい場所には 貯蔵しないこと。
<u>容器包装材料</u>	:	・密閉できるポリ容器。

## 8.暴露防止及び保護措置

(保護具)		
<u>手の保護具</u>	:	・手袋着用が望ましい。
<u>目の保護具</u>	:	・保護眼鏡の着用が望ましい。
<u>皮膚及び身体</u> の保護具	:	・作業衣着用が望ましい。

## 9.物理的 及び化学的性質(抗菌剤薬液について)

<u>物理的状態</u>	:	・白色ペースト状
<u>沸点</u>	:	・データが得られていない。
<u>比重</u>	:	・1.2(20 )
<u>溶解性</u>	:	・水に易溶
<u>引火点</u>	:	・無し
<u>揮発性</u>	:	・無し
<u>可燃性</u>	:	・無し
<u>自己反応性・爆発性</u>	:	・無し

## 10.安定性及び反応性

<u>安定性</u>	:	・通常の条件においては、安定である。
<u>特定条件下で生じる危険な反応物</u>	:	・酸性物質との混和において ガスが発生する。 ・加熱により炭酸ガスを放出し炭酸ナトリウムとなる。
<u>危険有害な分解生成物</u>	:	・通常の条件においては、安定である。

## 11.有害性情報

<u>急性毒性</u>	:	・TD50 4,220mg/kg(普通物)
<u>皮膚腐食性・刺激性</u>	:	・眼      ウサギ    100mg(後洗浄)    軽度 ・皮膚     ヒト        30mg/3日(多回投与) 軽度

## 12.環境影響情報

移動性	:	・知見なし
残留性・分解性	:	・知見なし
生態蓄積性	:	・知見なし
魚毒性	:	・知見なし

## 13.廃棄上の注意

残余廃棄物	:	・ウエス等に浸み込ませて焼却すること。
汚染容器及び包装	:	・容器は清浄にして、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

## 14.輸送上の注意

輸送に際しては、容器に漏れの無い事を確かめ、転倒、落下、破損が無いように積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。

## 15.適用法令

消防法	:	・該当しない。
毒物劇物取締法	:	・該当しない。
化学物質管理促進法 (PRTR法)	:	・該当しない。

## 16.その他

引用文献 ・原材料物質データベース(日本塗料工業会編集)  
・ICSC(1999)  
・化学物質の危険・有害便覧(中央労働災害防止協会編)  
・JCIAデータベース  
・安全衛生情報センターデータベース  
・(財)化学物質評価研究機構データベース  
・原料メーカーMSDS

注意

この製品安全データシートは、安全な使用と取り扱いをして頂く為に 信頼し得ると考えられる資料ならびに測定などに基づき 一般的な取り扱い等を前提として作成したものです。

**記載している注意事項は 人、環境、安全、健康等 全ての面への影響を網羅するものではありません。**

また 製品について如何なる保証をするものではなく、使用におかれましては 関係法令に従い この製品安全データシートを参考に ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定の上 ご使用下さいますようお願い致します。